

News letter vol.2

森のムツレ教室とは？

約 50 年前、ヨスタ・フロムによって作られたスウェーデン発の子ども向け環境教育です。持続可能な社会形成を目指し、世界 11 ヶ国に広がっています。

(社)日本野外生活推進協会

2015.9.10 発行



雨の日に ナメクジを観察 する

あいさつ

日本野外生活推進協会 代表理事 高見 豊

今年の夏は大変暑い夏でしたが、リーダーの皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、2015年7月26日は当日本野外生活推進協会が社団法人となって1周年の記念日でした。スウェーデンから学んだ環境教育「森のムツレ教育」を全国に普及するという目標・目的は法人になってからもまったく変わっていません。

その目標・目的を達成するために2009年から始まったのが「森のムツレ全国シンポジウム」です。本年は長崎県のリーダーの皆様のご尽力を得て第5回「森のムツレ全国シンポジウム in 長崎」を7月18日~7月20日まで長崎県雲仙市で開催いたしました。

実行委員長の桑田久美子リーダー（NPO法人子育てネットやまぼうしの会）を中心としてよくまとまったスタッフと地元関係者の皆様のご尽力と福岡県、佐賀県のリーダーの皆様との連携協力によって大きな成果を得て成功裏に終わることができました。

この「森のムツレ全国シンポジウム」はリーダーの資質向上と地域のムツレ活動を支援すること、あわせて全国のリーダーの情報交換の場とすることをめざし開催してまいりました。

1日目のリーダー実技研修はクニニュータナ教室をおこないました。

2日目は午前中式典と講演会をおこないました。

札幌医科大学脳神経科の鶴飼渉の基調講演は「なぜ子どもにとって自然が大切であるか」を脳の発達から説明するものであり、活動するリーダーにとって自信につながる講演内容であり今後の活動のために強い後押しになることと思います。

3日目のオープン公開教室には、強い関心を持って多くの親子が参加してくださいました。開催された「ムツレ教室」・「クニニュータナ教室」・「ストローバレ教室」・「クノッペン教室」それぞれの教室は小雨の中でしたが素晴らしい教室になりました。こうした教室モデルが、これから展開される長崎県での活動の弾みとなり、模範的な教室として地元リーダーに受け継がれていくことを願っています。

今回のシンポジウムが単なる親睦ではなく、長崎県で広めようとしてくださっているリーダーの皆様の学びと励みにつながれば主催者としてこれ以上の喜びはございません。

最後に、事例発表していただいた皆様、ご参加いただきました全国のリーダーの皆様、ご協力いただいたすべての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

理事

代表理事	高見 豊
理事	君塚 昌俊
理事	小山 通子
理事	西村 恭子
理事	本莊 賀寿美
理事	原田 優
理事	荻野 尚子
理事	大東 まこ
理事	芦田 あや
監事	足立 邦明
監事	余田 淳子



事務局

事務局長 高見 幸子
協会事務局事務員
足立 由美
ネットワーク事務局事務員
松枝 純

＊ 国内の最新動向 ＊

森のムッレ全国大会 in ながさき 報告

主催	NPO 法人子育てネットやまぼうしの会 森のムッレ全国大会実行委員会 一般社団法人日本野外生活推進協会
開催日	平成 27 年 7 月 18 日（土）から 20 日（祝）
開催地	長崎県雲仙市千々石町 長崎県立千々石少年自然の家
参加人数	18 日：14 名（申込者：17 名） 19 日：70 名 20 日：121 名（内行政参加費なし 1 名）
日程 参加者及 事業報告	<p>【18日：フォローUP研修】 参加者：14 名 内容：クノッペンとクニュータナの違いとプログラムの立て方</p> <p>【19日】 〈開会式〉 行政出席：雲仙市長、雲仙市教育委員会教育長、雲仙市子ども支援課長、環境政策課職員 あいさつ：市長、教育長 〈基調講演〉 参加者：70 名 講演者：高見豊（一般社団法人日本野外生活推進協会） 鶴飼渉（札幌医科大学精神神経科講師）</p> <p>〈事業報告〉 発表団体：5 団体 篠山（兵庫県）、NPO 法人青空保育たけの子（福島）、海童保育園（佐賀）、環境ネットワーク虹（福岡）NPO 法人子育てネットやまぼうしの会（長崎） 近況報告：ゆりあげの会（福島）、久山保育園（福岡） 〈フリーディスカッション〉 コーディネーター：赤瀬明子氏 パネラー：高見豊会長、鶴飼渉先生、発表団体 5 名 スクイブ出席：高見幸子氏</p> <p>【20日】 参加者：親子及び見学者 120 名、 行政：1 名（参加費なし） 野外食：豚汁・まんぢゅう 炊事班：9 名 体験教室：クノッペン（0 歳～2 歳）、 リーダー：桑田、是石、宮崎（記録） クニュータナ（3 歳～4 歳親子）、 リーダー：小山、吉積、緒方（記録） ムッレ（年長児）、 リーダー：高見（町）、西村、細田（記録） ストローバレ（小学生）、 リーダー：小島、高見、本荘、緒方夫（記録） 妖精：ムッレ（佐伯）、 フェルフィーナー（辺見） 〈閉会式〉 14 時 00 分解散</p>

森のムッレ全国大会実行委員長の感想

この度、会長をはじめ本部の方々のご理解、ご教示のもと、このような素晴らしい全国大会が遠い地、長崎での開催ができて大成功に終えたことを協力して下さった方々に感謝してお礼を申し上げます。

今回、長崎県の外れでリーダーの参加者が集まるか心配でしたが、長崎県に広めていくための目的があったので、県内から「森のムッレ」を知らないたくさんの方の一般参加者が多く良かったです。これから、長崎に広がっていくことを確信することができました。

基調講演では、私たちの活動に自信と勇気を与え後押ししてくれる内容であり、また、ムッレのことをあまり知らない一般の子育て親や地域の方々にもわかりやすく説明していただいたので、とてもよかったですと思いました。



体験教室では、心配された雨もひどくなく、実施できる小雨だったので良かったです。反対に、小さな子どもを持った母親達に、雨の中でもできるのだということがわかってもらえたのではないかと思います。これからの課題として、全国で活動しているリーダーの参加が少なかったのがとても残念でした。

私は、「森のムッレ」にこだわって活動していますが、全国のリーダーはどうなのかな？と感じることもありました。事例報告をした園でも、ムッレだけには限っていなかったようです。森のムッレを大事にして、伝えていく、広げていくことが難しいのだろうかと感じてしまいました。他の活動団体に、ムッレの手法だけ取り込まれるのではなく、ムッレリーダー養成講座を受講し活動していく場合、リーダーとして「森のムッレ」を全面に出して活動する団体にしていかなければいけないのではないかと感じました。

この素晴らしい「森のムッレ」を、全面に出して取り組めるリーダーが全国に増えていくことを願って事業報告とします。

森のムッレ全国大会実行委員長 桑田久美子

大阪大谷大学と認定校契約を結ぶ

このたび、学校法人大谷学園が設置する大阪大谷大学教育学部の正課の授業、自然体験実践指導技術(監)の授業において、森のムッレリーダー養成講座を実施するにあたっての契約を結び運びとなりました。

実験的に、昨年、本協会の小山講師と大阪大谷大学の井上教授が講師として、正課の授業で、森のムッレリーダー養成講座を実施されました。その経験を元にして、一過性ではなく、長期的に大学と協会の協力体制が構築できるようにするための契約を検討してきましたが、近いうちにその契約が締結できる予定です。

今後、他の大学からも、正課の授業で森のムッレリーダー養成講座を実施する希望があれば対応ができるようになります。

大学で、システム的に、若いリーダーが育っていくことは、日本のムッレ活動の普及と発展に、大いに弾みができるため、今後の活動のための大きなステップになると期待しています。

＊ ＊海外の最新動向＊ ＊

イギリス、ウエイルズ、スコットランドで森のムツレ、クニュータナ、クノッペンリーダー養成講座が開催される

2015年8月に、日本でも講師としてお世話になったシーブとマグナス リンデ夫妻とカイサの3名が、ウエイルズで森のムツレリーダー養成講座、イギリスで、クニュータナとクノッペンリーダー養成講座をそして、スコットランドで森のムツレと友達についてのワークショップを現地のリーダーとの協働で開催しました。それぞれ3箇所では、3年間に渡り、現地のリーダーがスウェーデンから講師を招聘して講座を開いてもらう準備をしてくれており大成功だったとのこと。今後の発展が期待されます。



当協会事務局長が 最高勲章を受賞

スウェーデンの野外生活推進協会の本部が、過去20年間の日本のムツレの活動を高く評価し、私たちにエールを送っていることをお伝えしたいと思います。

今年の5月の本部の総会にて、当協会の事務居局長の高見幸子が、日本のムツレのリーダーの皆さんを代表して、スウェーデン野外生活推進協会の最高勲章「鉄のメダル」を受賞いたしました。これは、日本全国で地道な活動を続けているリーダーの皆さんの活動をスウェーデン本部が高く評価し、皆さんにエールを送っていることの証です。

これからも、日本全国の子どもたちが自然に出かけられるようになるというチャレンジに挑戦したいと思います。

一緒に頑張りましょう！



(ウエイルズで掲載された新聞記事)

昨年は、森のムツレ国際シンポジウムがラトビアで行われ、世界12カ国から約90人の参加者が集まり、日本全国から10名の方が出席しました。次回はウエイルズで開催予定ですが、来年は、その準備の年にしたいという現地リーダーたちの希望で、次回の国際シンポジウムは、2017年8月4-5日の日程でウエイルズのDare Valleyで開催されることになりました。ぜひ、ご参加ください。

国内ネットワーク組織の最新ニュース

●環境ネットワーク「虹」の代表、佐伯さんと NPO 法人子育てネットやまぼうしの会の代表の桑田さん、久山保育園の鳴海園長と中島さんの4名が9月12日-21日の予定でスウェーデン研修旅行に参加予定。スウェーデンでは、森のオープンプレスクールのリーダー養成講座の受講ほか、ムッレボーイ園での実習、ヨスタフロムの最優秀リーダー賞の授賞式に参加し、フィンランドのムッレ協会と交流などのプログラムに参加予定です。

●森のムッレ協会新潟では、ムッレ教室の新規導入を目指す先生方の参考書となるような模範事例集（新潟県内の保育園におけるムッレ教室の活動事例集）を2年間かけて作成予定。今年は、出来るだけ、基本的な事を分かりやすく保育の中で取り入れられるようにムッレの基本を分担して研修をしています。

野外教育を支援する長野県

「NPO法人響育の山里くじら雲」

9月1日（火）夜11時より

BSのCSチャンネル TBSニュースバードで

「田んぼのごはん 野外保育のくじら雲」

というタイトルで活動が紹介されました。

今年の4月に、長野県の県民文化部次世代サポート課から当協会に、長野県は、全国初の取り組みとして

「信州型自然保育認定制度」を4月1日より施行されたという報告をいただきました。

他県にも、野外教育のサポートが広がっていくことを願います。



スウェーデンの「森のムッレ」

対象年齢別事例集

スウェーデンの森のムッレ教室の歴史や森のムッレ教室、森のクニユータナ教室、森のクノッペン教室、ファミリームッレ教室、森のオープンプレスクール、野外保育園等の最新情報を掲載。今後、養成講座の副教材として活用させて頂く予定です。

2014年3月

環境ネットワーク「虹」発行

翻訳：高見 幸子

編集：佐伯 美保

協力：日本野外生活推進協会

スウェーデン野外生活推進協会

ヨスタ・フロム森のムッレ財団

2015 ネットワーク組織代表者会議のお知らせ

第2回ネットワーク組織代表者会議を企画いたしました。

日時：平成27年11月22日午後-23日午前

会場：ホテルコスモスクエア国際交流センター

www.hotel-cosmosquare.jp/access.html

プログラム：ネットワーク事務局から近況報告、ネットワーク組織の活動報告、今後の課題と協働について。近くの大阪南港野鳥園で「森のオープンプレスクール」の研修と自然観察も企画中です。

* 投稿文募集のお知らせ * * *

ご自身のムッレ活動や野外活動に関する様々な情報、ご意見・ご感想などを募集しています！①コラム名、②著者名、③所属先名、④電話番号、④E-mailをご入力の上、投稿文と活動写真(1~2枚)を添えて、E-mailにてお送り下さい。ご投稿お待ちしております。

担当：松枝 E-mail: mulle2639@gmail.com